

プレスリリース [2020年4月28日]

(計3枚)

## 市民の声をもとに、市民参加型事業評価対象事業の 「改善プログラム」を作成しました

市民の声を行政経営・行政サービスの向上に活用するため、2019年11月24日に市民参加型事業評価（※）を実施しました。2019年度は、新たな取り組みとして、会場に足を運ばなくても多くの市民が事業評価に参加できるよう、会場の様子をライブ配信したほか、傍聴者や視聴者によるインターネット投票を実施しました。また、高校生世代の声を行政経営に反映し、子どもにやさしいまちを実現するために、初めて高校生世代の若者が話し合いにより評価対象事業を選び、すべての事業に評価人として参加しました。

評価の結果、評価対象の6事業のうち、5事業が「改善すべき」、1事業が「大いに改善すべき」でした。評価結果を踏まえ、市では今後2年間で評価対象事業を改善するための取組みを「改善プログラム」として作成しました。

改善プログラムの詳細や今後の取組みの進捗状況は、市ホームページをご覧ください。

### ※ 市民参加型事業評価とは

市民と有識者で構成する評価人チームが、事業所管課の担当者との議論を通じて、事業の問題や課題等を洗い出し、現状を評価するものです。その後、市は課題の解決策として「改善プログラム」を作成し、事業の改善に取り組みます。

### ■ 評価対象事業、評価結果及び改善プログラムの主な取組み

事業名 【評価結果】	改善プログラムの主な取組み ※カッコ内は、事業評価の結果を受け、すでに改善が行われている場合に記載
生涯学習センター事業・図書館事業 【改善すべき】	SNSを活用した生涯学習センター、図書館に関する情報発信の充実
	中高生向けの学習目的で図書館を利用できる優先席の設置（1月実施済）
	生涯学習センターと図書館が連携した講座や、相互でのPRの実施
	高校生が図書館事業に参加できる仕組みの検討
環境衛生事業 【改善すべき】	SNSを活用した、ごみのポイ捨てに関する情報発信やマナー向上の呼びかけの強化
	美化推進重点区域内での重点的な啓発活動の推進
	ごみのポイ捨て防止啓発活動への高校生参加の検討
道路管理事業 【改善すべき】	「シェアサイクルで町田を巡る。」をテーマにしたサイクリングマップの作成、配布（2019年12月実施済）

	シェアサイクルのサイクルポートの増設
	道路通報アプリで通報いただいた方へのインセンティブの検討
広報事業 【改善すべき】	事業の目的や効果、対象との因果関係を踏まえた適切な指標の設定
	民間のリリースサイト等を活用した情報発信の方法や効果的なタイミングなどに関する職場研修の実施
	市民が情報を見つけやすいホームページへのリニューアル（2020年3月実施済）
町田ターミナル プラザ事業 【大いに改善すべき】	ターゲットに合った事業運営の実施
	町田ターミナルプラザの賑わい創出や活性化を測る適切な指標の設定
	市民広場の専用使用の申込方法やイベントスケジュールの周知の充実
観光振興事業 【改善すべき】	小田急電鉄等と連携した、観光案内所やイベント等のPRの充実
	イベント毎の満足度やリピーター率など、適切な成果指標の設定
	さがまちコンソーシアム等と連携した若者対象のイベントの実施

## ■ ライブ配信やインターネット投票の実施状況

### (1) ライブ配信

広報事業・町田ターミナルプラザ事業・観光振興事業については、YouTube「まちテレ」チャンネルからライブ配信を行いました。アクセス回数は、延べ 542 回でした。

### (2) インターネット投票

選挙や住民投票に活用されているオンライン投票システムを活用しました。1 事業の評価中に 3 回実施（計 18 回）し 404 件の回答がありました。

## ■ 参加した高校生評価人の声

- ・思ったことを自由に発言したが、その発言によって市の事業が改善されていくのを感じることができて、うれしかった。市をもっと良くするために自分が関わることがとても良い経験だった。
- ・今回、自分達の一意見が文字になって市の人が行動してくれた。「自分たちがこの町を変えている」と思えることが本当に素晴らしい。これからも住んでいる町田という街を大切に生活していきたいと思う。
- ・高校生なので話合いのスキルも今後必要になる。皆さんとのやり取りの中で学ぶことができた。事業の分析とかも普段はなかなかしないので、それができたことが勉強になった。
- ・高校生活最後の年に貴重な経験ができた。事業評価の資料を送っていただく度に、事前に読んで予習していたが、議論についていけないこと、わからないことがあり、スマホ片手に調べながら話を聞いていた。このような経験は普段の生活であまりできない。知らないこと・様々なことに頭を働かせることができた。今後も町田市に興味を持って関わっていきたい。

■ 本件に関するお問い合わせ先  
政策経営部経営改革室 課長 押切 TEL 042-724-2503